

令和5年常陸太田市原子力災害広域 避難訓練における情報伝達調査結果

調査概要

本調査は令和5年度常陸太田市原子力災害広域避難訓練において、佐竹地区、久米地区、郡戸地区をはじめとする市内全域に対して行った各種情報伝達の状況について調査したものである。

調査は以下の手法で行った。

1 訓練チラシによる調査

情報伝達の結果を記入する用紙(訓練チラシ)3600枚を作成し、訓練に先立って佐竹地区、久米地区、郡戸地区の各世帯に配布した。

訓練後、郵送にて回収し、486枚の回答を得た。

2 WEBによる調査

情報伝達の結果を記入するWEBページを制作し、訓練に先立って市ホームページで公開し、参加を希望する全ての市民が回答できるよう準備した。

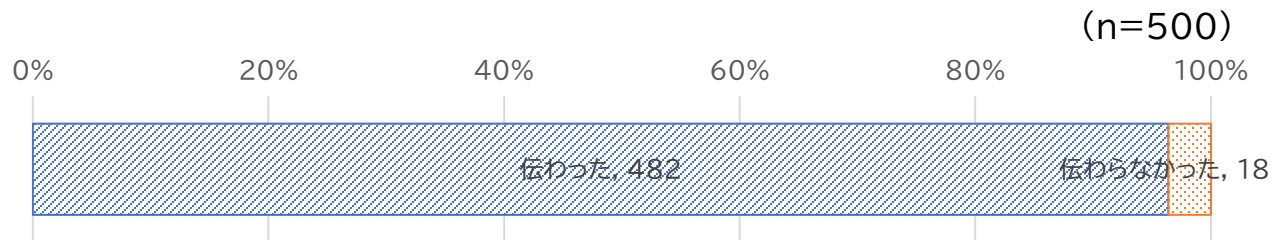
訓練後、WEBページを集計し、18件の回答を得た。

情報伝達調査結果

1 市が発信した防災行政無線やエリアメール等の情報は伝わりましたか

本訓練では、警戒情報、屋内退避指示、一時移転指示の計3回の情報伝達をおこなった。
回答者のうち96%の方から「伝わった」との回答を得た。

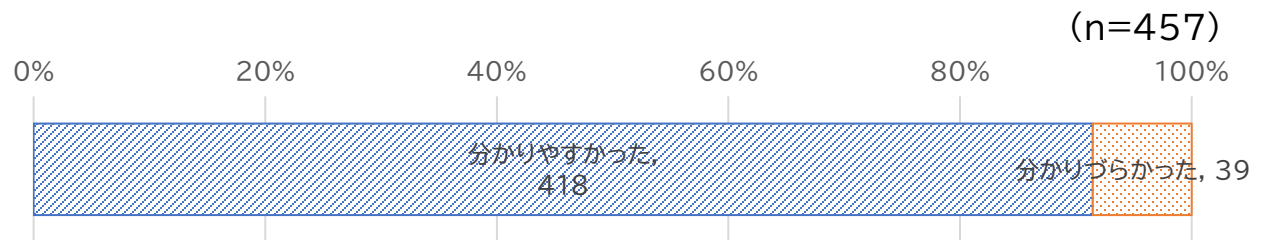
項目	回答数	回答率
伝わった	482	96%
伝わらなかった	18	4%



2 発信した情報の内容はわかりやすかったですか

本訓練では、防災行政無線、市ホームページ、エリアメール、公式SNSなど文字数制限等を考慮し、伝達手段に応じた広報文を作成して伝達を行った。
回答者のうち91%の方から「わかりやすかった」との回答を得た。

項目	回答数	回答率
わかりやすかった	418	91%
わかりづらかった	39	9%

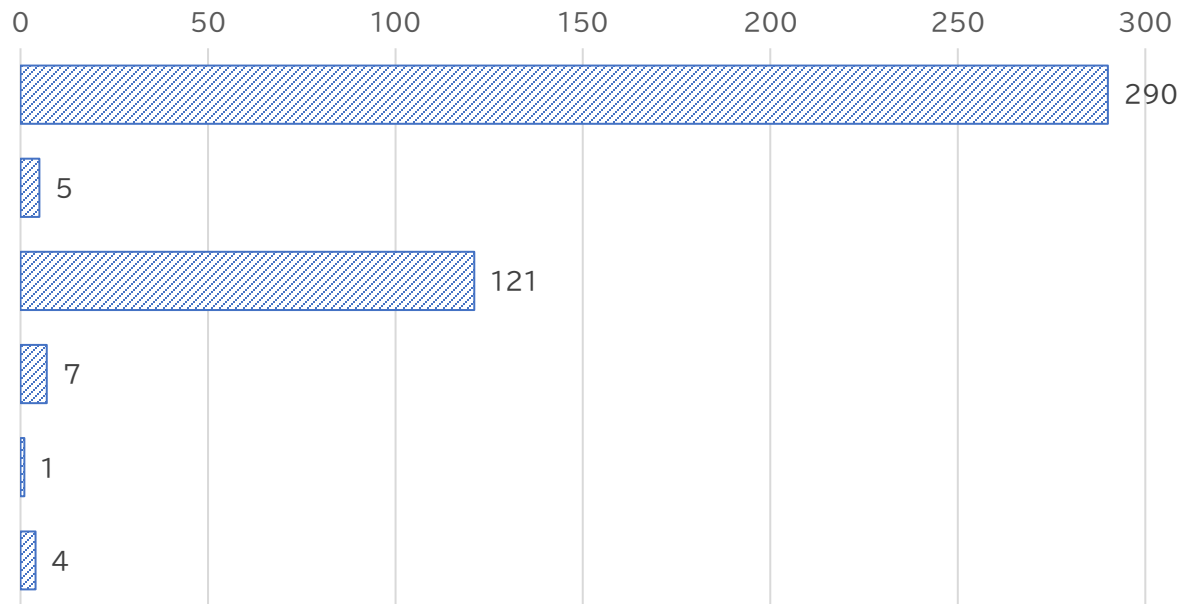


情報伝達調査結果

3 以下の情報のうち最も効果的だと思う手段は何ですか

防災行政無線と回答した方が最も多く、次いでエリアメールという結果であった。

項目	回答数
防災行政無線	290
じょうづるさんナビ	5
エリアメール	121
広報車	7
市ホームページ	1
市SNS	4



情報伝達調査結果

4 自由意見

(1) 防災行政無線について

ア 防災行政無線が聞き取りづらい。

- ・防災行政無線がハウリングして聞きづらかった。
- ・屋内の防災無線機と屋外の防災無線機がやまびこ現象になり内容が聞き取りづらかった。
- ・防災行政無線は聞こえませんでした。（アンテナを伸ばしても場所を変えても）
- ・屋内にいますと防災行政無線は聞こえづらい
- ・外部放送が二重にこだまし、聞き取れない。
- ・私は家の中にいたので防災行政無線で伝わりましたが、用事があり外にいた家族の者は防災行政無線の情報がよく伝わらなかったようです。
- ・屋外の放送はどうしても声が響いてしまって聞き取りづらい。
- ・防災行政無線が全く聞き取ることができなかつた。音声が反響音と重なった。
- ・防災行政無線は聞き取りづらかつた。風向き次第では聞こえない。
- ・防災行政無線がエリアメールの音に消されてしまった。終了の合図はあったのでしょうか。いつ終わったのかわからなかつた。
- ・仕事に行く前に防災行政無線を聞きましたが、途中少し聞き取りにくかつたり途切れてしまうことがありました。
- ・外で仕事をしていました。防災行政無線の内容が聞こえづらく、一人暮らしで周りに聞く人もいない。
- ・室内にいますと防災行政無線は聞きづらいため、もう少しボリュームを上げてほしい。
- ・音が小さく情報が伝わりませんでした。
- ・山間部在住。外部には伝わらなかつた。
- ・防災行政無線での伝達は声が割れて聞きづらかつた。広報車なども使って両方から伝えてほしい。
- ・外で聞くと音が反響して聞きづらかつた。

- ・防災行政無線が全く伝わらない。
- ・防災行政無線の音量が低くて聞き取りにくく、結局窓を開けて聞くことになつた。
- ・屋外無線は以前のものと同様に聞きづらい。
- ・畑仕事をしていたので外無線で聞いていましたが少し反復重なって聞こえ、聞こえづらかつた。
- ・防災行政無線が聞きづらかつた。
- ・防災無線の言葉がわからない
- ・難聴者には聞き取れない
- ・家の防災無線は日中に家にいないので、ほぼ聞けていません。
- ・防災行政無線、最初の方は聞きづらかつたです。窓を閉めた状態では聞こえづらかつたので、仕方なく窓を少し開けて聞きました。
- ・高齢者の方は無線が鳴っていたことに気づいていない方が多かつたです。
- ・防災無線放送において、テレビを付けていると放送に気づきづらかつたです。

情報伝達調査結果

4 自由意見

(1) 防災行政無線について

イ 防災行政無線は聞き取りやすかった。

- ・本日の男の方の放送はとても聞き取りやすかったです。話す速度が良かったです。
- ・情報発信をした方の言葉が、はっきりと正確に話されていたので、とても聞きやすかった。
- ・防災行政無線の放送（男の人）は大きな声でゆっくり話してくれ、私のような高齢者にもよくわかりました。
- ・防災行政無線は本当に話す間の置き方が良く、言葉がはっきりして耳の遠いものもよく聞き取れました。流れる放送はなぜか間のところがないのでわからない時が多数あり、若い者に聞いたりしています。
- ・今回は防災行政無線で皆が知ることができたと思う。今後も同様の方法でお願いしたい。
- ・防災行政無線が新しくなったので家にも無線が入りました。
- ・防災無線がわかりやすかった
- ・防災行政無線での伝達がとても分かりやすかった。
- ・防災行政無線ですが、難聴の私でもゆっくりはっきり聞き取れ、大変ありがたく感謝いたします。
- ・家の中にある防災無線は良く聞こえた
- ・防災行政無線がわかりやすく大変良いと思った。
- ・屋内防災無線は良くなった
- ・情報伝達訓練時防災行政無線放送の内容及び情報が的確で良好でした。大変お疲れ様でした。良好でした。
- ・妻は室内の防災行政無線で聞いていたので理解したようです。
- ・SNSなどより市から発信される防災行政無線の声が届きやすく、「何ごと？」と耳を傾けると思います。危険が迫った時は人の声の方が届きやすいと思います。
- ・防災無線が良く聞こえた。
- ・当日は日曜日で在宅していたため防災行政無線が効果的だった。
- ・市長自らの情報伝達が市民として心に響いた。

- ・外の防災無線がいつもより大きくハッキリと分かりやすく伝えていたのでとても良かったです。いつもハッキリと分かりやすく伝えてもらいたい
- ・今日の無線は、聞きやすかったです。音が割れてなかったの、すぐわかりました。内容までは、完全には聞き取れなかったの、戸建用のラジオみたいな形の機械市役所に借りた方が良いのか悩みます。

ウ 発話の方法に工夫がほしい。

- ・防災行政無線での指示等、少しテンポが遅く感じた。
- ・男性の声は間延びしすぎかなと思った。
- ・防災無線の案内が眠くなるような話口調で、だらだらとした話し方でわかりにくかった。
- ・無線AIスピーチ速度が遅すぎる。緊急なので速やかに内容を知りたい。
- ・機械が読む放送は漢字の読みが間違っていて途中で？となった。人が読む放送文は読みが遅く、間延びの感があった。緊急時なので緊迫感のある速度が良いのでは？”
- ・最も効果的なのは防災行政無線だと思いますが、話し方はエリアメール程度のスピーディな話し方の方が緊急性は伝わるともいます。
- ・文語と文語の間に時間を設ける。
- ・防災行政無線の声が低くて聞きづらいので、もっと高い声でお願いしたい。
- ・男性の低い声では聴きづらいかも
- ・防災行政無線は女性の声が聞きやすいのでは。
- ・声量は女性の方の声量ぐらいですと聞きやすいのではと思います
- ・防災無線のアナウンスですが、先日の災害時にも思ったのですが、男性職員のかたの声は聞き取りにくいです。いつものAIの声のほうが聞き取りやすいです。3回目の放送は市長さんでしたが、実際の災害時には他にやるべきことがあると思いますので、放送に慣れているかたや女性職員のかたのほうが良いのではないかと思います。

情報伝達調査結果

4 自由意見

(1) 防災行政無線について

エ 防災行政無線の設置・機材に不具合がある。

- ・戸別無線機の取り換えがあったが、業者が来て外にアンテナを取り付けないとダメと言っており、修理が行えていません。
- ・防災行政無線の端末機は設置してあるが、設置後数回のお知らせは聞こえたが、以後はずっと無音のままです。端末が駄目なのか受信状態が悪いのかわかりませんが、これでは設置の意味がない。いざというときの対処が取れない。
- ・防災行政ラジオが壊れていた。
- ・防災無線が壊れています。
- ・新しくなった防災無線受信機（デジタル）では外に出ても入ってこなかった。電気屋さん（戸別訪問）では受信機故障ではなく、家に外部アンテナが必要と言われた。
- ・防災行政無線戸別受信機は全く入ってこなかったのも意味なしでしょう。早めのアンテナ設置をお願いしたい。
- ・防災行政無線は当初より雑音が入。機器の性能に問題があるかもしれません。予算と必要性を考慮して、更新してはどうか。
- ・一部防災放送で流れないところがあるため、防災放送局の定期点検の実施が必要
- ・防災無線は雑音が入り、若干聞きづらいです。通常の無線（市広報など）は雑音がほとんどない。
- ・防災行政無線は設置していますが、電波が悪いのか場所を移動しても入りづらい。
- ・かなり前に配った家にある無線を新しいものに変えてほしいです。古くて大きく重いです。
- ・防災行政無線は雑音が入ってきづらい。ザーザーの雑音を止めてもらいたい。
- ・室内受信機が故障しているためか、常に緑色のランプがついていたのですが聞こえませんでした。
- ・防災行政無線が入らなかったため、業者にアンテナをつけていただき、訓練に間に合いました。

(2) 広報車の聞き取りについて

- ・広報車もわかりやすかった。
- ・広報車は何を言っているのかわからなかった。
- ・広報車は一部だけしか聞き取れなかったです。
- ・広報車も通行する部分のみの内容で聞き取ることが困難であった。
- ・各地域に広報車が周る等、一斉に災害が起きた時の対応のアナウンスもあるとわかりやすい。
- ・広報車などで回って伝える方法もよいと思う。
- ・水害の時、広報車（パトカー）が伝達してくれなかったら夜間のため、全くわからなかった。資のSNSもなく、行政無線も雨・風で全く聞こえなかった。
- ・広報車が確認出来なかった。消防署と消防団の車両は広報活動に参加していないのか。

(3) 市ホームページ、じょうづるさんナビ、SNSについて

- ・ナビ、メールSNS等は年寄りにはわかりづらいです。
- ・細かい情報はすぐ市のホームページで発信されることが多くなり、理解も利用もできない者にとっては、とても手段として利用することはできません。地区柄もありますが、そのような弱者が多いのも現実です。
- ・家以外で常陸太田市の状況を知りたいので、じょうづるさんナビ、エリアメール、市SNSの充実が望ましいと思う。文字で理解できる方法も大切。年齢が上がると無線は聞き取りにくくなると思う。
- ・エリアメールはスマホの電源を入れていたのでわかったから、エリアメールと同じようにじょうづるさんナビでポップアップ標示させたらどうだろうか。
- ・市ホームページでは新着ではなく、防災情報のリンクをトップに表示すべき。
- ・スマホでも緊急連絡があったが、外出時にはこちらの方が効果的である。私は当日、両方の情報によって行動することができた。
- ・防災行政無線の愛用がスマホアプリ等で確認できるといいです。

情報伝達調査結果

4 自由意見

(4) エリアメールについて

- ・エリアメールは危機が迫っていると感じ、よかったと思う。
- ・防災行政無線と時間差でエリアメールが入ったので文字でも確認できてよかったです。また自宅にいない場合はエリアメールが有効です。
- ・年齢の若い方にはエリアメールが最も効果的だと思います。
- ・情報伝達の都度、エリアメールが必要。
- ・緊急速報メールにびっくりした。訓練なら1回で良いと思う。
- ・3回のエリアメールはしつこかった。2回くらいにしてほしい。
- ・仕事で家を留守にしているときのエリアメールは様子がわかっていいと思います。
- ・家族のiPhoneのauエリアメールが入らなかった。Android端末のauエリアメールは入った。
- ・エリアメールは訓練で使わない方が良いと思う。実際の災害時のみに使用することとし、訓練と区別した方が効果的ではないでしょうか。
- ・訓練の場合のエリアメールはやめるよう検討してほしい。車を運転中や市外からの方は何事が発生したのか驚き、安全ではない。

(5) 伝達内容について

- ・防災行政無線、エリアメール、じょうづるさんナビ、広報車での情報伝達はよくわかったと思う。
- ・「これは訓練です」は念のため2回流すことが良いのではないかと。通常の避難訓練ではそうしている。
- ・防災行政無線放送時「これは避難訓練です」の最初の言葉を聞き逃してしまいがちです。2回繰り返して放送してはいかがでしょうか。
- ・事前に行政無線で知らされてはいましたが、当日の放送で訓練と言うのを最後に「訓練です」と言っていたのですが、放送の最初に訓練と伝えてからの方が、仕事等で事前放送を聞き逃した方は混乱しないと思いました。

- ・無線放送の始まる時に「ピー音」「サイレン」とか引き付けるものがあつたほうがよいのでは。単なる放送とってしまう。
- ・文面が長すぎると思った
- ・防災行政無線の放送内容はもう少しわかりやすく、短くて良いと思う。訓練であつたも実際に起こつたことを想定しての放送だと思うので、起きたこと、屋内退避、域外避難が分かればよいと思う。訓練だからこそ実際に起きた時のために記憶に残るようにすべきだと思う。
- ・AI音声かなと思いましたが、郡戸（ぐんど）地区をこうず？ごうど？と発信したのが気になりました。
- ・放送文が簡潔でない。最後まで聞かないとわからない。
- ・避難指示、郡戸地区は大宮運動公園にということでしたので、すぐに行ってしまった。他の方も途中まで行ったのを聞き、連絡しました。放送の時ほど誰もがわかりやすい言葉で言ってほしかったと思いました。
- ・避難する際、スクリーニングを受けるよう、防災行政無線で放送していたが、一般人には専門用語が理解できない。（スクリーニングって何？）
- ・1, 2回目の放送で「株式会社」はいらんと思います。東海原発が分かればいいので、それよりも大事なことを早くアナウンスしたほうが良いのではないのでしょうか。また、2回目の放送で「放射性物質がもれた」という情報はありません」という文章がありましたが、放送では「もれた」で区切っていたので、それを聞いて驚いてしまい、後の情報が入らなくなってしまう人もいると思います。「もれていません」などわかりやすい文章に変えたほうが良いのではないのでしょうか。
- ・風向き等に基づく避難対象地域には詳細な情報連絡が欲しい。
- ・原子力災害は、放射線がどうなるのかが一番欲しい情報になります。放送では、現在放射能がでていないとの情報であつたが、現在のモニタリング数値等も伝達が必要だと思います。屋内退避などの緊急度等がわからないと、対応の仕方も異なる。家族が外出している場合など、場所に留まるのがよいのか、自宅に戻るのがよいのかなどの判断材料が必要となる。

情報伝達調査結果

4 自由意見

(6) 屋内退避について

- ・ 時間帯、気候、天気の状態によるが、屋内退避チェックリストを全て実施できるのか、行動に自信がありません。夫婦二人なので、分担を決めて行動したいと思います。
- ・ 私は85歳で体調不良、独居ですから緊急時に対応できることは他県の避難はともかく屋内退避だけでもこのチェックリストのようにできるだけ早く対応できるよう心がけて行動したいと思います。
- ・ 自宅にいる時ならできると思いました。
- ・ このアンケートを見ていなかったの、実際に洗濯物を室内に取り込むことが出来ていませんでした。
- ・ エアコン停止、洗濯物を室内に干すことは知らなかった。定期的に訓練を行うことは必須と感じた。
- ・ 食品にふたやラップがけは重要視していなかった。
- ・ ご近所はほぼ洗濯物を外干しにしたままでした。
- ・ 初めての訓練なので屋内退避は全部はできませんでした。
- ・ 酷暑の時期にもし実際に原子力災害が発生したら、どのくらいの時間窓を開けず、エアコンなしで過ごせるのか不安です。放射線による関連死より熱中症で死ぬ確率が高いと思う。
- ・ 訓練であること、天気が良かったこと、季節も良いこと、前日まで家を開けていたことなどがあり、屋内退避訓練はできなかつた。
- ・ メール連絡時、屋内退避チェックリストの項目すべてを記載してあると良いと思った。
- ・ チェックリストは家内に掲示できるように配布してはどうか。
- ・ 屋内退避はよかった。
- ・ 9:15以降の訓練内容は、視覚障害者のいる我が家では無理で、結局屋内退避を続けるしかないと思った。避難先でのトイレの問題など。
- ・ 室内換気口の閉め方がわからない。
- ・ 屋内退避方法がわからない。
- ・ 屋内退避はどのくらいで解除できるのか。
- ・ 原子力事故時に屋外に出ないことが重要であろう。

(7) 避難時の課題について

- ・ 自力で一時集合場所に行けない人はどうするか。
- ・ 車で避難できない場合はバスが出るので指示された場所へ集合するよう市長のアナウンスがありましたが、そもそも車がないのにどのようにして集合場所へ行ったらよいのでしょうか。
- ・ 避難場所は大宮運動公園ですが、所在地がわからない。
- ・ 大宮運動公園へと放送がありましたが、それがどこかわかりません。前もって場所を知らせてあげれば良いのですが。
- ・ 地名を知らない人への配慮が必要です。避難場所の指示に対し、案内地図表示の確認ツールの添付があれば良いと思います。
- ・ 車で避難するとしても、ルートや避難先がわからず、車で避難できない人が果たして近くの小学校等へ移動できるのかも疑問です。
- ・ 受付に時間がかかりすぎた。
- ・ 避難場所では受付等大行列が予想される。簡素化が必須。すぐ次の行動に移れるよう工夫してほしい。
- ・ バス避難の際、目安として現地到着の知らせが欲しい。
- ・ 自家用車での避難の実施状況の情報が知りたい。
- ・ 70歳以上だし、車での避難かバスかどっちの方がいいのか迷ってしまうかも。
- ・ 避難どうしていいかわからなかった。

情報伝達調査結果

4 自由意見

(8) 訓練の成果があった。訓練を継続してほしい。

- ・ のんびり屋の私もやっと今回の防災訓練日に、自宅内にある非常用持ち出し袋を出して、少しの薬品類を入れることから始められました。
- ・ 無関心でいた自分に反省した。85歳なのでご近所さんを頼りたいので今以上に進行を深めたい。持ち出し荷物の点検を時々する事。携帯は手元に置き着信に気を付ける。
- ・ 習い事で出かけているとき、どのように避難を行えばよいか考える機会となりました。
- ・ 訓練に先立ち、アンケートや封筒が届いたので、意識して放送を聞き取り組むことができた。近所ですっと外にいた人も見かけたが、気にしている様子が見られたので、今回のやり方は効果的だと思われた。
- ・ いつ起こるかかわからない災害に対して、年に1回くらいは訓練をお願いしたいと思う。本当に災害にあった時にスムーズに避難ができるようにするための訓練だと思います。
- ・ 訓練の結果が良くなるよう、何回でも訓練を行い、原発が早く稼働できるよう願います。
- ・ 訓練をすることで課題や意識が低かったことも少しわかりました。
- ・ 時々訓練をしてもらえると慌てないでいいと思います。
- ・ 何度か訓練をし、実際に事故が起きた時に役立てたい。
- ・ 今日の訓練を生かし、今後落ち着いて行動したいと思います。
- ・ このような取り組みは大切だと思います。実際形にすることは大変だったと思います。関係された皆さんお疲れ様です。きっと役に立つと思います。
- ・ 緊張感が感じられないのが残念です。狭いエリア内で実施するのが体感じられてよいのでは。ただし役所の仕事が多忙になるのが欠点だが、長期間にわたって全市民が実体験できるがベスト。
- ・ 貴重な訓練に参加させていただきました。東海村から近い場所にあり、JCO臨界事故のこともあり意義のある一日でした。大宮に避難しましたが、体験できてよかったです。

- ・ 定期的に行ってください。仕事で参加できなかったため。
- ・ 訓練はよい準備になりました。
- ・ 大変役に立った。よかったです。
- ・ 災害はいつ来るかわからないので、定期的に訓練を行うことが重要と改めて感じました。
- ・ 訓練とわかっていたので慌てないで行動できた。
- ・ 原子力の事故は大変怖いので、今回のような試みは良かったと思います。情報伝達訓練や屋内退避訓練は今後も実施していただきたいです。
- ・ 情報の伝達は一つの媒体だけでは無理だと思う。今回の訓練デモ防災行政無線だけでは一言聞き漏らしただけで意味が違ってしまった。エリアメールや訓練のチラシ、じょうづるさんナビを駆使し、初めて訓練の概要がわかった。
- ・ スマートフォンや広報車など複数の手段を活用する必要があると思いました。(地震や火災のように感じるのが難しい災害なので)
- ・ 情報伝達手段が複数あって良いと思いました。
- ・ 「訓練」という言葉で真剣みがいまいちかも。時々実施して意識づけが大切かも。
- ・ 備えあれば憂いなしの如く、事前に把握して協力、訓練して抑止することが大切と思いました。
- ・ 前からわかっていただけだったので落ち着いて出来ました。現実起きてしまった場合を思うと不安になります。毎日の生活をしていくときも思っていこうと改めて感じました。
- ・ 住民が原子力災害が起きたときの行動を理解するためにも毎年行う必要があると思いました。
- ・ 避難訓練を日常化して、もしもの時に対応することは良いことである。
- ・ このような機会があることは、とても大切だと思いますので、今後も実施していただけたらと思います。
- ・ 今後も不定期で訓練を繰り返し実施することが良いと思われます。
- ・ 今回は試行の形で実施しましたが、常陸太田市全域で市民が参加する訓練をぜひやってほしいと強く希望する。本番も安心して対応できるかと思えます。特に女性の参加をお願いします。

情報伝達調査結果

4 自由意見

(9) 原子力防災対策で不明な事項・不安がある。

- ・高齢者ですが、自主避難のために小学校へ集合とのこと、自宅からの距離もあり、以前に調査には協力しましたが、いざというとき、スムーズに迎えに来てもらえるのか
- ・防災行政無線とエリアメールの情報は同時に入らないのですか。
- ・老人、障がい者はどうやって避難するのですか。
- ・訓練の場合は前もって日時がわかっているため伝わったが、実際に事故があった場合、情報伝達が伝わるか。
- ・今回は事前に知っていたので、慌てないで行動できたが、突然の場合は何とも言えない気がする。
- ・訓練の情報伝達はわかったが、いざという時、本当に避難できるかは自信がない。
- ・スマホを持っている人はすぐに行動できるが、それ以外の人たちは連絡漏れがあると感じる。
- ・屋内退避の効果？避難の時機を失し、放射線量の高いときに屋外で行動することに。どうして電源を失うこととなったのか、地震、台風、大雨（洪水）など理由によって住民の避難方法、集合場所等が制限されると考えます。
- ・現実には季節、天候、時間帯等、条件や環境が極端に異なると思われるので、避難や準備が困難になることが多いと感じる。
- ・実際避難するときは道が車でごちゃごちゃになってしまうと思うので、どうしたらよいかと思います。高齢者が運転する車も多いので、事故がたくさん起きることがありそうです。心配です。
- ・広域避難計画についてですが域外退避の場合、本地区では118号線を北上とのこと。118号での退避は他地区でも計画されていると思いますので、混雑は想像を絶するでしょう。現実的な退避ルートがあればと思います。
- ・佐竹地区は里美ふれあい館、久米・郡戸地区は大宮運動公園であったが、放射線は風向きによるので、どっちも同じ方向に避難指示すべきではと思いました。今回の指示に意図はあるのでしょうか。

- ・実災害発生時、福島県への避難をする際、道路は渋滞で動かなくなるのでは？対応はどうなるのでしょうか。
- ・放射能災害の場合は洗濯物を室内干しにする時間はないと思われませんが、訓練のための記載でしょうか。
- ・原子力災害は現実的にあまり考えられないので、緊張感がなかった。しかし、実際に災害があった時にどのように避難するのか不安です。
- ・私は独居でどうにでもなりますが、妻が那珂市のナザレ園に入所中（10年目）であの多人数の入所者、老人ホーム、特養、目の不自由な方々の避難をどうするのか、常に頭から離れずにあります。本当に本番の時の避難方法を教えてもらいたいです。
- ・改めて自分がどこに行けばいいのかわからなかった。
- ・こうなった時、何を守れるのか、その後はどうするのか。原発はただただ不安です。

情報伝達調査結果

4 自由意見

(10) 原子力発電所の廃炉、再稼働反対

- ・もし福島のように事故が起きた場合、住民全員が避難できると思っているのでしょうか。誰もがそう思っていないと思います。原発再稼働反対です。
- ・一番大切なのは原発を再稼働させないこと。少し電気代が高くなっても故郷で暮らせなくなるよりはましだと痛感している。
- ・60年を過ぎた古い設備の再稼働に、市は反対すべきである。第二の福島になりたくありません。
- ・原発の再稼働はやめるべき。
- ・原発を止めることが重要です。想定外のことは必ずあることを念頭に原発は動かさず廃棄することを強く望む。事故が起こったら福島県とは比べ物でなくなる。90万人以上の人生がなくなる。
- ・原子力事故が万が一でも発生したら、その後の人生は悲惨です。福島の実態を見れば分かるはずです。現状でも電力が過剰の時もあります。原子力稼働は絶対反対です。
- ・原子力はいらぬ。およそ100万人もの住民がいるのに避難できるのか、大混乱になると思います。こんなことをするよりも脱原子力です。近年東アジア情勢が緊迫してきていますが、原発にミサイルでも打ち込まれたら大変なことになります。こんな原子力の避難訓練などやめて、脱原子力を進めましょう。
- ・有事の際、避難するとしても現在の道路事情では渋滞に陥り（片側2車線にした118号線の紅葉シーズンの渋滞でもわかる）動くことができず車の中で被ばくするのが目に見えています。東海原発廃止が最良の対策です。
- ・屋内退避程度の事故で済むならばそれほど心配ないですが、福島の原発のような事故が発生した時、市民が安全かつスムーズに避難できるか大いに疑問です。絶対に無理だと思っています。したがって東海は廃炉にすべきだと思います。常陸太田市としてはNOと言うべきです。
- ・原子力発電は終わりにしましょう。

(11) その他要望

- ・できれば私のように一人暮らしで視力聴力の弱い方も多くいることを心に留めていただけたら嬉しいです。
- ・老人の耳のことも考えてわかりやすく情報を流してください。
- ・今回の訓練の成果（不備も含め）を市民全員に開示すること。
- ・気のゆるみがあるのか、土曜日のせいもあり、戸外で洗車やボール遊びなども見られました。あつては困りますが、もう少し緊張感があってもよいかと感じました。
- ・市のホームページで訓練の状況がわからない。
- ・実際に災害になった場合、自家用車で避難する人がほとんどだと思う。避難したかどうかの確認方法と全員避難できたかどうかの確認が大変難しいと感じた。市としてよい手段があれば積極的に進めてほしい。
- ・すべての災害に対する広報の在り方を検討すること
- ・訓練だけであることを願う。原子力の大切さはわかるが実際に発生した場合は人災である。東海は毎年何かしらの問題を起こしている。責任ある業務を願う。
- ・事前の案内が不十分、行政無線やメールだけでなく、広報車等の活用も必要と思う。
- ・アンケート用紙と封筒を同時に配ってほしい。アンケート用紙が先に配られたため、意味が分からずアンケート用紙を処分してしまった方がいました。
- ・茶封筒とアンケートは一緒に、10月分にまとめてほしかった。
- ・アンケート回答方法において経費削減の工夫を願いたい（ネット回答の併用、郵送費削減、集計効率向上ほか）

情報伝達調査結果

4 自由意見

(12) その他感想など

- ・訓練も大事だが、事故が起こらないことが一番大事ですので安全で暮らすことを願っています。
- ・まずは原子力施設に対し、最大な防備策を期待するだけです。私たちは無力です。
- ・設備の徹底管理
- ・原子力発電所の再稼働には理解しています。
- ・原子力災害はいかに早く情報を伝達するかが大事だと思います。
- ・なかなかその気になれない。
- ・戦争のない世の中、世界が平和でありますように。異常気象にも関係しているのではないかと思います。
- ・参加して何がポイントか理解できず、国、県からの指示で行った感がする。
- ・本来対策本部で情報を収集し、陣頭指揮をとるべき市長が防災無線でアナウンスをしていること自体が、危機感がなく呑気なトップであると不安を感じるばかりである。
- ・市長さんが、訓練協力のお礼をしたいということであれば、訓練終了後や翌日に放送してはいかがでしょうか。
- ・原子力事故による行政指示避難は致しません。元来、当方は東海第二原発再稼働には反対です。本件に関する限り、行政の指示に従うことは後世子孫に対する背信行為に他ならないからです。戦中戦後の教育及び1F事故の行政指示を考えても明白です。
- ・わかりづらい
- ・福島県原発、東海原研で事故発生時には自宅で避難しています。
- ・私もそうですが、ご高齢の方が年々増えるのではと思います。またお子さんがいらっしゃるご家族は早々に避難してはいかがでしょうか。ご検討よろしく申し上げます。
- ・訓練だと気づかず、本物だと思った方がいました。
- ・このようなことが起きないように祈ります。

- ・原子力災害、東海村ではJCOの事故もあったが対策は後手で後の対応はパフォーマンスのようだった、福島のような事故が東海で起きてても迅速な対応は困難だ、町民に自然災害を含めての危機意識をもってもらうことが重要だが大きな災害を体験したことのない町民の意識付けは容易ではないと思います。情報の伝達、多くの人がスマホを持ち歩いている現状では一斉に情報が流れるので不安も掻き立てられるので有効だと思う。
- ・原子力は100%事故は起きないと教育を受けてきたが失望した。
- ・今回は情報伝達訓練、屋内退避訓練のほか、私の居住する佐竹地区では避難先市町村への避難、放射線被ばくの検査も設定されておりましたが、「参加者は自主防災会より事前連絡有り」との注記があり、連絡がなかったので情報伝達および屋内退避のみ参加しました。
- ・市防災対策課の皆様、日ごろから様々な対策を考えてくださり、ありがとうございます。一市民として感謝申し上げます。ご苦労もあるかと思いますが、これからもよろしく願いいたします。頼りにしております。